

「シティ OL-AID」第23回回収報告&第24回回収告知

オフィスのみんな
今すぐ始められる国際貢献

第24回回収は、1月6日(木)必着!

これまで集まった使用済みの切手を、シティ編集部へ郵送するか、直接持参してください。※直接、編集部へ持ち込む場合は、できるだけ事前に日時を電話連絡してください(月～金曜午前9時30分～午後7時)

回収物 使用済み切手(今回までメータースタンプ、カード類もOK。次回以降は使用済み切手のみの回収)

回収するときのポイント 切手は消印を残して切り取ってください。また、「日本切手」と「外国切手」を分けてください。

あて先 〒102-8515 千代田区紀尾井町3-23

シティリビング編集部「シティ OL-AID」回収係

参加オフィスも随時募集中

参加希望オフィスには、「シティ OL-AIDシール」を配布。不要になった空き箱などに貼り、回収箱として使用してください。※参加の際は必ず会社の承諾を得てください

参加方法などの詳細はシティウェブで
<http://event.citywave.com/olaid/>

問い合わせ シティ編集部 TEL03-6703-4420

注意!

第24回で
「メータースタンプ」
「カード類」
の回収は終了

第24回の回収をもって、使用済み「メータースタンプ」と「カード類」は終了になります。第25回からは回収しませんので、注意してください。



2次元コード対応の
ケータイはこちらから

第23回回収報告

(2010年1月下旬～8月中旬実施)

使用済み切手

日本切手(1100円/1Kg) 30万3160円/275.6Kg

外国切手(3000円/1Kg) 7440円/2.48Kg

使用済みメータースタンプ

日本メータースタンプ(600円/1Kg) 1万6560円/27.6Kg

海外メータースタンプ(1000円/1Kg) 3000円/3Kg

使用済みのカード

テレフォンカード 9109円/1万122枚

テレフォンカード以外 1万184円/3万3947枚

合計 34万9453円

今回で24回目を迎える「シティ OL-AID」は、全国のシティ読者にオフィス単位で参加してもらっているボランティア活動。どれくらいの寄付が集まり、どんなことに役立っているのかを紹介します。参加オフィスも随時募集中なので、次回の回収日をチェックしてね。

世界の妊産婦や女性を支援
使用済み切手を集めて寄付

全国のシティリビング企業も、半々に一度回収を行って、第23回収(2010年1月中旬～8月中旬実施)では、合計34万9453円相当分が集まりました。協力してくれた全国のみなさん、本当にありがとうございます。次回回収は、2011年1月6日(木)必着! 皆さんの温かなご協力を引き続きお願いします。

Q いくらで何ができるの? ※ザンビアの場合

2000円で…1人の女性が助産師の立ち会いのもと、施設で安全に出産することができます。また、産後の母子のケアもできます

月5000円の支援1年間で…妊娠・出産に関する保健情報を伝える「母子保健推進員」を1人育成できます



自転車は、妊婦の搬送をはじめ、妊婦健診や緊急のケアが必要とき、とても役立っています©Miki Tokairin/JOICFP



産前産後教室の様子。妊婦さんへの理解を深めてもらっています

現地の人々へ

支援をした地域では、出産間隔も空いていて、女性が健康に過ごしており、また妊娠しても不安がないと言ってくれています。母子保健推進員の方たちもすごく活躍していて、モチベーションが高く、誇りを持って携わってくれています。(小野さん)

ジョイセフ <http://www.joicfp.or.jp/>

Q どこでどんな支援活動を行っているの?

妊産婦死亡率の高いサハラ以南のアフリカの国々や、アフガニスタンなど、これまで延べ31カ国で支援活動を続けてきました。これらの国々では、クリニックや診療所が少なく遠くにあるため、クリニックに通えずたくさんの命が犠牲に…。また、例えばザンビアのマサイティ郡では人口約12万人に対して医師1人など、医療スタッフも不足しています。診療所には出産用品を持参しなければならず、それを用意できない人もたくさん。それらを解決し安全な出産ができるように、妊産婦の入院施設の設置、出産助産用キットの提供、母子保健推進員の育成、母子保健推進員が使う自転車の提供などの支援をしています。

集められた切手の使い方を
ジョイセフの小野さんに
聞きました

集まった切手を国内外の収集業者に買い取ってもらい、途上国の女性たちが「安全な妊娠・出産」をするための支援資金とさせていただきます。みなさんからのご支援を本当にありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。

ジョイセフ小野美智代さん



「ジョイセフフレンズ」募集中

途上国の女性たちと「フレンズ」になり、毎月継続的な支援をする「ジョイセフフレンズ」(月1000円以上から)を随時募集中。詳しくはhttp://www.joicfp.or.jp/jp/donation/joicfp_friends/へ。

チャリティイベント開催

12月17日(金)～25日(土)開催のホワイトクリスマスチャリティ企画「ティンガティンガ原画展・販売会」(入場無料)、チャリティコンサートなど、さまざまなイベントを開催! 詳しくはホームページ(<http://www.joicfp.or.jp/>)へ。

世界の妊産婦の現状

世界の妊産婦死亡の99%が途上国で起き、年間40万人近くが亡くなり、約2000万人が産科疾患で苦しんでいます。また、安全でない中絶で亡くなる人は毎年約6万8000人。「妊産婦死亡の削減」は、国連189カ国が2015年をゴールに策定した「ミレニアム開発目標」の、8つの国際的な重要課題のひとつなのです。